

みんなの未来レポート

発行：未来の学校事業運営委員会「Mirai研」

topic 飯田風越高校の「目指す学習者像」の具体的な姿

前回、飯田風越高校には「目指す学習者像」が10個あることをお話ししました。それらはこれからの社会で生きていく上で必要な力でもあるため、ぜひ身につけて欲しい力でもあります。でも、例えば「探究する人」とは、「広い視野をもつことができる人」とは、どのような姿のことを指すのでしょうか？今回は、日頃の学校生活の中で、まさに「目指す学習者像」を身につけている人、身につけようとしている人を見つけましたのでいくつかを紹介します！（※昨年度のものも含みます）

探究する人

好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけることができる。一人でもまたは、他の人々と共に学んだりできる。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じて持ち続けることができる。



「哲学対話」において、「問い」について学んでいる様子。探究学習のためという文脈ではなく、純粹に自分の興味・関心のある事柄を探究していくために、ゲーム形式で「問い」について考えていった。



風越祭における書道部の発表。自らの興味・関心のあることを時には仲間とともにとことん追究するクラブ活動も、立派な探究の場。ここまで本気でうちこめる日々は、人生における大切な財産となる。

コミュニケーション・コラボレーション（協働）できる人

複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現できる。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合うことができる。



English Dayにおいて、外国の方と英語でコミュニケーションをとった。今持っている力で懸命にコミュニケーションをとろうとすることで、自身の英語力が向上するだけでなく、他者と関わるうえでの大切なことも学んだ。



結いスクエア内にある飯田市公民館「ムトスぷらざ」の活用方法について、高校生の目線で考え、飯田市に提案していくもの。風越生自らがイベントを企画・運営してく中で、高校生の仲間だけでなく、大人も含めた多くの方たちと、協働してやり遂げた。

広い視野を持つことができる人

自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めることができる。多様な視点を求め、価値を見出し、その経験を糧に成長しようと努めることができる。



English Dayの様子。様々な国の文化や言語について、外国の方との交流を通して理解を深め、ポスターセッションの形式で発表した。



FUETSU Global Campにて、与えられたテーマに対して自らの意見を主張し合った。様々視点に出会うことで自らの視野が広がった。新たな「出会い」に対して敏感でいられるのが重要。

このように、単に授業中だけではなく、飯田風越高校の学校生活全体を通して「目指す学習者像」の育成に向かっていることが分かったと思います。また、同じ活動であっても、いくつかの学習者像にまたがっていることも分かったのではないのでしょうか。飯田風越高校での生活は、ただ教科書の内容を頭にいれることだけが目的なのではありません。もっとずっとおもしろいものなのです。風越のひとつひとつの教育活動の根っこには、社会に出ても活用できるもっと大切なものが通っています。そう考えると、ちょっと風越での高校生活の見え方が変わってきませんか？



～長野県飯田風越高等学校～

国際的な教育プログラムを研究する高校

